

# 日本 K-ABC アセスメント学会

## 第 26 回大会（大阪大会）第 1 号通信

令和 6 年 2 月 吉日

日本 K-ABC アセスメント学会 26 回（大阪大会）

主 催 大阪 K-ABC 研究会

大 会 長 大久保純一郎（帝塚山大学）

事務局長 盛永政和（大和大学白鳳短期大学部）

余寒の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、日本 K-ABC アセスメント学会第 26 回大会を大阪府大阪市にて、下記の要領で開催させていただくことになりました。何かとご多用とは存じますが、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

1. 日 時 令和 6 年 8 月 10 日（土）～8 月 11 日（日）
2. 会 場 たかつガーデン（大阪府教育会館：大阪市天王寺区東高津町 7-11）
3. 後 援 日本 K-ABC アセスメント学会

### 4. 大会テーマ 『アセスメントが繋ぐー時間・事象・空間ー』

### 5. 大会日程

8月10日（土）		8月11日（日）	
9:30	受付	9:10	受付
10:00	開会	9:30 ～ 10:30	定期総会
10:10 ～ 11:40	基調講演 「アセスメントの専門性を子どもの援助に活かす～ 師匠アラン・カウフマン、師匠のメンター デイビッド・ウエクスラーから引き継いだもの」 講師：石隈利紀先生(東京成徳大学)	10:40 ～ 12:10	教育講演 「アーレンシンドロームについて」 講師：熊谷恵子先生(筑波大学大学院)
11:50 ～ 12:50	昼食 (地域研究会交流会)	12:20 ～ 13:20	昼食 総務委員会、研修委員会、編集委員会、 広報委員会、検査者・資格認定委員会
13:10 ～ 14:40	教育セミナー 「KABC-II・WISC-V・新版K式2020、 それぞれの検査の特徴と長所」 指定討論者：高橋順治先生(生駒市立上中学校) 講師：小野純平先生(法政大学)KABC-II 大六一志先生 WISC-V 大久保純一郎先生(帝塚山大学)新版K式2020	13:30 ～ 15:20	研究発表Ⅱ（3室にて実施） 2演題×3室 計6演題
	(移動)		(移動)
15:00 ～ 16:50	研究発表Ⅰ（3室にて実施） 2演題×3室 計6演題	15:35 ～ 16:35	研修委員会報告 「地域研究会の新たな取り組み ー学会主催研修会との連携を目指してー」
		16:35	閉会式
18:00 ～ 20:00	懇親会		

## 6. 研究発表の申し込み

### (1) 発表の要領

すべて口頭発表の形式で、1演題につき、50分（質疑応答を含む）を予定しています。発表会場には、プロジェクターとパソコンをご用意いたします。その他の機器の使用をご希望の方は、事務局までご相談ください。

### (2) 発表の要件

筆頭発表者になれるのは、期間中1回に限ります。ただし、連名発表者はこの限りではありません。筆頭発表者は正会員であり、令和5年度年会費を納入し、所定の期日までに発表申し込みをしている必要があります。現在、会員でない方で発表を希望される場合は、以下の本部事務局にお問い合わせの上、入会手続きを行ってください。

入会手続き：日本 K-ABC アセスメント学会本部事務局

〒112-0012 東京都文京区茗荷谷駅前郵便局留 日本 K-ABC アセスメント学会 事務局

TEL：03-3944-1390 E-mail：honbu-jimu@k-abc.jp

### (3) 発表の申し込み

下記のホームページ内にある、申込み用フォームからフォームに従ってお申し込み下さい。

<ホームページからのお申込み> <https://www.osaka-kabc.jp/>

「第26回大会(大阪大会)発表申込み」のタブをクリックし、以下の項目についてご記入下さい。

- ①発表者のお名前と所属（連名発表の場合、筆頭発表者に○をつけてください。）
- ②発表演題
- ③使用機器の希望（プロジェクター・パソコン）
- ④筆頭発表者の連絡先（郵便番号、住所、電話、E-mail アドレス）

## 7. 発表原稿の作成と送付

発表原稿は、原稿作成要領にしたがって作成し、令和6年5月17日（金）までに以下の宛先まで、E-mail でご送付願います。送付された原稿は、事務局にて誤字・脱字および記録用紙の点数の確認または修正のみさせていただきます。

<発表原稿の送付先>E-mail：[osaka.kabc@gmail.com](mailto:osaka.kabc@gmail.com)

大阪 K-ABC 研究会事務局 盛永政和

## 8. 参加申し込み

参加申し込み、参加費の振込み等につきましては、5月24日発行予定の「第2号通信」で、お知らせします。

## 9. 宿泊等の幹旋について

大阪大会では、宿泊先等の幹旋は行いません。開催時期が夏休み中で混雑が予想されますので、宿泊先及び交通手段の手配はできるだけ早くから手配されることをお勧めいたします。

## 10. 今後の予定

①研究発表申し込み締め切り	令和6年4月19日(金)
②発表原稿送付締切	令和6年5月17日(金)
③第2号通信の発送	令和6年5月24日(金)
④参加申し込み締め切り	令和6年7月12日(金)

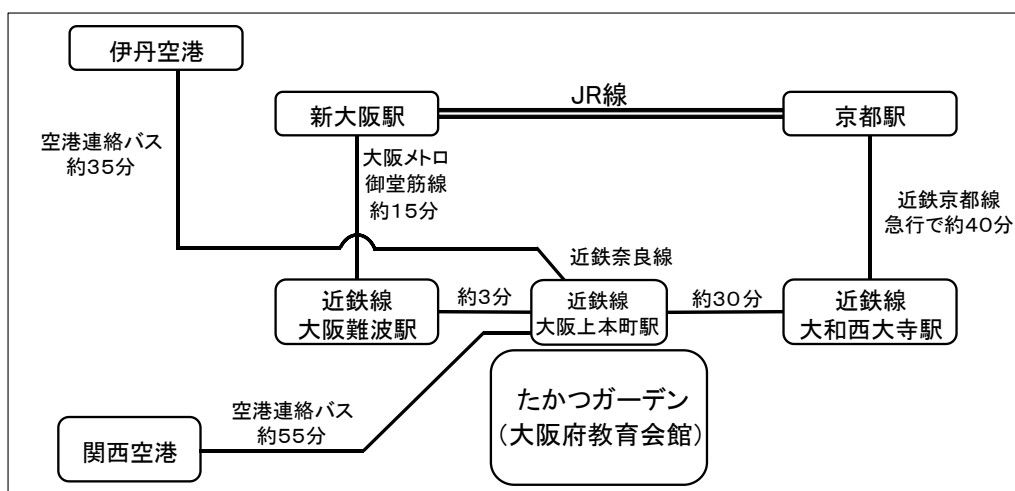
## 11. ポイントについて

本大会は、SENS、学校心理士のポイント申請、および日本公認心理師協会「テーマ別研修」登録申請を予定しております。

## 12. 大会に関するお問い合わせ

日本 K-ABC アセスメント学会第26回(大阪大会)実行委員会  
事務局 盛永政和(大和大学白鳳短期大学部/一般社団法人 LITTO-LABO)  
TEL: 0745-60-4010  
E-mail: osaka.kabc@gmail.com

## 13. 会場へのアクセス



※表示された時間は目安です。事前にお調べになる等、余裕を持ってお越しください。

## 14. 発表原稿作成要領

※詳細は、申込みフォーム内にある「第26回大会発表抄録集執筆要領」をご参照下さい。

### (1) ページ数

原稿の長さは、A4で6ページ分とし、検査結果の表等を含みます。

### (2) 書式

余白は、上下、左右20mmです。1ページ目は、タイトル（MS ゴシック 14P）と所属・氏名（MS ゴシック 10.5P）で7行、2ページ目以降は23文字×50行の2段組（MS 明朝 10.5P）です。

### (3) 構成と内容の例

※⑩⑪は選択制

#### ①タイトル

#### ②発表者（所属）

#### ③対象児（在籍する学校・学級、学年、診断を受けている場合は診断名、性別等）

#### ④主訴（養育者、学級担任などからの主訴）

#### ⑤背景となる情報（対象児を特定できる可能性のある個人情報に記載しない）

1) 生育歴及び現在までの経過 2) 家庭環境 3) 学校や家庭での現在の様子

#### ⑥アセスメントリスト（KABC-IIを含む）

#### ⑦KABC-IIの検査結果と解釈

#### ⑧その他の検査結果と解釈（KABC-II以外に実施した検査がある場合）

#### ⑨総合解釈と指導（支援）方針

#### ⑩指導経過及び指導結果（以下のA、Bのいずれかを選択）

##### パターンA

（※見出し：MS ゴシック体、太字）

（※小見出しは適宜変更可）

##### 指導・支援経過および指導・支援結果

開始時の状態、指導した課題、指導期間や指導頻度・時間、指導経過、指導後の状態、その他の日常生活での変化などについて記載する。

##### パターンB

（※見出し：MS ゴシック体、太字）

（※小見出しは適宜変更可）

##### I フィードバックの実際

紙面によるフィードバックの内容を記載する。できれば、口頭によるフィードバック（フィードバック面接）の進め方も取りあげる。

##### II 多職種連携の方策

どういう職種とどのような連携を行うのかについてできるだけ具体的に記載する。

※I・IIのどちらか、または両方について記載。

#### ⑪まとめと今後の課題（「考察」などに適宜変更可）

パターンA：指導・支援の要点と、その根拠となった検査結果の解釈について簡潔にまとめる。

また、十分に指導できなかった点や、次に取り組むべき課題について記載する。

パターンB：取り組みの成果を簡潔にまとめる。そして、取り組みの中で不十分であった点や、

次に取り組むべき課題について記載する。

#### ⑫倫理的配慮

#### ⑬文献（引用文献を記載する）